

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [管理・監督者の心構え](#)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

▶ キーワード検索はこちら

管理・監督者の心構え

災害は「人とモノの異常接近によって起こる」、その人とモノを支配し影響を与える役割を担っているのがリーダー（管理・監督者）です。したがって、安全衛生活動の最大のキーマンとなります。

真の意味のヒューマンエラーを除き、災害・健康障害は労働安全衛生管理のあり方如何によると言っても過言ではありません。このような重要な任務をもっているのです。

こと安全衛生管理においては、妥協なしの厳しさ、その管理活動を通して、「できる人」「できた人」づくり、人材育成を図る視点が重要です。勿論、自らもレベルアップする自己啓発、努力が求められることは言うまでもありません。

リーダーに要求される心構えとしては

- 1. 労働安全衛生活動の理念（基本的な考え方）を明確にする。
- 2. 知識の全体像を知る。

①会社の方針 ②関係法令 ③社会・業界動向など

- 3. 安全衛生管理活動

①組織的な活動（労働安全衛生マネジメントシステム ②リスクアセスメント ③安全衛生委員会の活用 ④具体的な活動の内容と実践 など

- 4. 態度の全体像

①チームワーク ②人格の成長 ③目標とその達成への計画実践など

「身構え・気構え・心構え」のこと。

そして、このような日々の実践が「安全・品質・生産」の三位一体として融合し、有能な人材と人間性豊かな社員（組合員）を育成することになるのです。

現場（具体的な作業を進める）にあたっては

- 1. 業務（仕事）が求める条件を事前に意識し確認しておくこと。

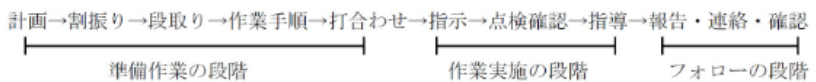
- 1. 作業の形態はどういうものか。（単独作業・協同作業・定常作業・非常作業など）
- 2. 作業に求められている必要な能力は。（専門知識レベル。技能の習熟度。体力。免許等）
- 3. 工程期間はこうなっているのか。（仕上げまでの期間は。など）
- 4. 作業条件は（性別・年齢。作業強度。作業姿勢。要求する正確さ・速さなど）
- 5. 環境条件（物理的条件は。科学的条件は。生物的条件は。環境的条件は。など）

- 2. 配置の際に必要なこと

- 1. 法令上必要な事項（教育の義務規定。免許・資格必要業務。就業禁止・制限規定など）
- 2. 労働能力（性別・年齢差からくる差異と特徴。健康的側面から。その他。）

- 3. 作業中における管理監督

- 1. 目標達成は計画的に、遂行は厳しく愛情をもって
 - a. 作業の管理（①管理体制の整備「監督管理の方法」。②準備。③実践。④後始末。）
 - b. 人間関係（①意欲・やる気の喚起。②欲求の把握。③問題解決。④生活指導など）
- 2. 日常の管理監督業務を押さえる



工作中的指導のあり方を考える

- 1. 考えさせる（自ら解決する主体性を育てる）。
- 2. ポイントを押さえる（急所「チェックポイント」を押さえる、その為には全体の計画とその要所を知らねばならない）
- 3. 指導のチャンスときっかけをつかむ。

指示求められたとき

相手に言わせ、不足をカバーする

報告してきたとき

報告を受けるだけでなく、なぜそうしたのか、今後はどうするか。聞き、復習・ステップへ繋げる。

指示を与える場合

相手の立場に立って5W1Hで具体的に。そして質問で不明、理解不足がないか確認をする。

作業中に作業者に不安全行動があった場合は、直ちに是正するよう指示・命令を！

指示についての留意点

○相手に応じた、TPOで、言葉・態度も、

- 相手の能力に適した指示を。
- 指示した内容は、双方で責任を持つこと。
- 判断に迷うような指示はしない。
- 指示の変更は理由を明確にして説明を。

人の扱い（接し）方

管理監督者（リーダー）は、部下を通して仕事の目標を達成する人のこと。

リーダーシップ（指導性）が求められる。

課題達成能力（仕事の機能性を高める）、集団維持能力（人間関係構築）の両面が必要となる。

課題達成も集団維持能力もその根底は人であり、人（部下）との接し方、その扱い方が、やる気・意欲・自発性を高度にもするし、その逆もある。

リーダーシップを発揮するために、

1. より良い人間関係の形成
2. 意欲・やる気の喚起と育成
3. 業務がやり易い環境の形成
4. 集団管理の推進
5. 自己研鑽（自己啓発）

作業設備の安全化・より良い環境の形成へ

1. 作業環境・設備の安全化を（5Sの習慣化をはじめとする具体的活動の推進）
2. 機械の包括的安全衛生基準に関する指針の徹底。
3. 本質安全化の実践を。（危険と思ったらマシンを止める、業務を中断する指示の徹底）

管理監督者の環境条件保持役割任務

1. 環境条件と健康障害の関係を理解し、健康障害防止と環境条件の快適化を図ること。
2. 環境条件を良好に保持するため施設の機能を良好に保持すること。
3. 環境に変化があれば、その原因を究明し上司に報告し、しかるべき措置を講じる。
4. 事故や災害事例を活用し、環境条件のより良い保持に努力すること。

安全・衛生の点検を怠らないこと ⇒ 物の点検、人の点検を

1. 点検基準の確立（時期の適正化・点検項目の適正化・厳格点検など）
2. 管理監督者としての実践事項の確立。
 - ① 日常の点検計画は。
 - ② 上司への報告・連絡・相談、上申することも視野に入れて。
 - ③ 部下に任せっきりにしないこと。
 - ④ 点検基準や時期など常に見直しの意識を持つこと。
 - ⑤ 点検結果を作業に生かすこと。
 - ⑥ 点検結果を必要な教育に生かすこと。

安全衛生は、管理監督者の最重要任務と心得るべし

業務の多忙性に、スピードアップに、心身の疲労が「あせり」を生んでいないか。そこから、自分のことのみしか捉えられない注意力の極小化し業務の狭義性を生んでいないか。

災害の多発化は、管理監督のあり方に問題があると心得るべし

業務の最適化は、品質の高度化・安全衛生による生産性向上となる。管理監督者の強力なリーダーシップがもたれている。

労働組合は、このようなリーダーシップが発揮できる環境整備を働きかけていかなければならない。

- [サイトマップ](#)
- [このサイトについて](#)
- [個人情報保護の取組みについて](#)

●	TOP page	●	資料室	●	イベント情報	●	講師を探す
●	関連リンク						

Worker's Library
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE

静岡で働く人のための資料閲覧

ト

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.